

2021年2月12日

プレスリリース

シンポジウム「生物多様性とライフスタイル～新しい日常に向けてわたしたちができること～」開催

公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)は、環境省が3月6日に主催するオンラインシンポジウム「生物多様性とライフスタイル～新しい日常に向けてわたしたちができること～」を共催します。

新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大の影響により、世界は生活様式の変化や見直しを余儀なくされています。他方、これまでも、さまざまな科学的研究ないし報告書が、持続可能性の観点から社会変革の必要性を指摘してきました。IPBESが2019年5月に発表した地球規模評価報告書は、今世界が直面する生物多様性危機の克服には「社会変革(transformative change)」が必要だと指摘したほか、2020年9月に愛知目標の最終評価として公表された地球規模生物多様性概況第5版(GBO5)も、「今まで通り」(business as usual)から脱却する「社会変革」が、2050ビジョン「自然との共生」達成の条件だとしています。

本シンポジウムでは、私たちの豊かさや生物多様性との実は深い関わりや、生物多様性を守っていくための私たちの行動変容につながるヒントとなる取り組み事例などを、研究者、人気カフェのオーナー兼社会起業家、ユース NGO 代表、生き物コレクションアプリを開発した受賞歴多数のスタートアップ企業など、多様な専門家・活動家から紹介いただき、パネルディスカッションも交えて、私たちひとりひとりに何ができるのかを考えます。なお、武内和彦 IGES 理事長が基調講演を行います。

詳細・申し込みは[イベントページ](#)をご覧ください。

公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES: Institute for Global Environmental Strategies)について

IGES は、アジア太平洋地域における持続可能な開発の実現に向け、国際機関、各国政府、地方自治体、研究機関、企業、NGO などと連携しながら、気候変動、自然資源管理、持続可能な消費と生産、グリーン経済などの分野において実践的な政策研究を幅広く行っています。1998年、日本政府および神奈川県からの支援により設立。本部は神奈川県葉山町に所在し、約150名の研究者を擁し、その3分の1強が外国籍。関西(兵庫県)、北九州、北京、バンコク、東京の各センター・事務所と共に、グローバルおよびアジア太平洋地域のネットワークを生かした戦略研究を展開しています。

生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム(IPBES: Intergovernmental Science-Policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services)について

生物多様性及び生態系サービスに関する動向を科学的に評価し、科学と政策のつながりを強化する政府間のプラットフォームとして、2012年4月に設立された政府間組織。科学的評価、能力開発、知見生成、政策立案支援の4つの機能を柱とし、気候変動分野で同様の活動を進めるIPCCの例から、生物多様性版のIPCCと呼ばれることもあります。IPBESの評価報告書は世界中の科学者・専門家らによって執筆され、その政策決定者向け要約は、加盟国政府により構成される総会による承認後、公表されます。2020年2月現在、137カ国が加盟、事務局はドイツのボン。

<https://www.ipbes.net/>

IGES の IPBES への貢献について

IGES は 2015 年以降、日本国環境省の協力のもと、IPBES アジア・オセアニア地域評価の技術支援機関(IPBES-TSU-AP)を設置。2018 年に発表された同評価報告書の作成に主要な役割を果たしたほか、2019 年 2 月から「侵略的外来種に関するテーマ別評価」の技術支援機関を担っています。また、生物多様性条約(CBD)事務局が運営する生物多様性日本基金の支援によるアジア・オセアニア地域における IPBES に関する能力構築事業の実施や IGES 研究員の IPBES 報告書執筆への参加などを通して、IPBES の活動に幅広く貢献しています。

【このプレスリリースに関するお問い合わせ】

公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES) <http://www.iges.or.jp/>
広報担当：庄(しょう)、杉原 [Tel: 070-5596-5924](tel:070-5596-5924) Email: iges_pr@iges.or.jp